



アキノノゲシ (キク科) ①
ススキ草原やチガヤ草原で淡い黄色の花を咲かせています。



ガマズミの実 (ガマズミ科) ②
赤い実が山中で目立ちます。実は野鳥にも人気があります。



ヤマボウシの実 (ミズキ科) ④
花を楽しませてくれたヤマボウシの実が熟してきました。甘くておいしいです。

熟したミツバアケビの実 (アケビ科) ③
果肉には黒い種子が多く含まれます。種が口の中でジャリジャリしますが美味しく食べられます。



ナツハゼの実 (ツツジ科) ⑤
実が熟して黒くなってきました。食べられます。

ヤマボウシの実 (ミズキ科) ④
花を楽しませてくれたヤマボウシの実が熟してきました。甘くておいしいです。

ナツハゼの実 (ツツジ科) ⑤
実が熟して黒くなってきました。食べられます。

アキノノゲシ①はススキ草原、チガヤ草原一帯で見られます。

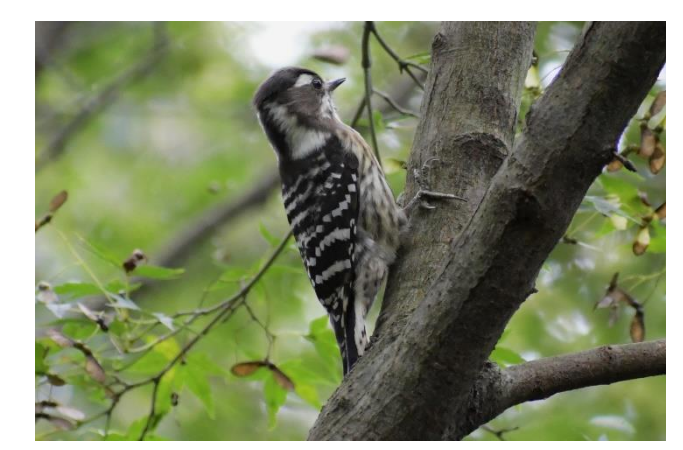
森林の中に入ると、落葉前はなかなか目立ちませんが、小型の野鳥が活動しているのがわかります。



メジロ (メジロ科)
もうきん 猛禽対策のためか、メジロ、シジュウカラ、エナガなどの小型の野鳥が群れを作って群れで活動しています。



シジュウカラ (シジュウカラ科)

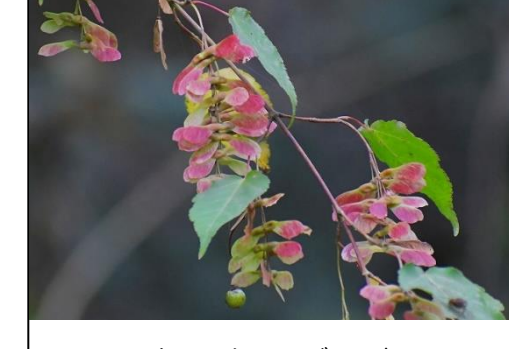


コゲラ (キツツキ科)
コツコツという木に穴をあける音(ドラミング)で存在がわかります。



マテバシイの実 (ブナ科) ⑥
大きな実(ドングリ)は、開花の翌年の秋に2年かけて熟します。

ウリカエデの実 (ムクロジ科) ⑦
紅葉はまだですが、よくか翼果が目立っています。



スズメウリの花と実 (ウリ科) ⑧
実は現在緑色ですが、熟すと白くなります。



みどころ Mikiyama 令和5年10月上旬

三木山森林公園 検索
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています



ヒマラヤスギの球果 (マツ科) ⑨
ヒマラヤスギの実(松かさ)が目立ち始めました。成熟すると種子を飛ばしながら崩壊します。



交尾中のツマグロヒョウモン (タテハチョウ科)
幼虫はスミレ属を食草とします。下池横のフジバカマにとまって交尾していました。

ナラ枯れで枯れた大径木のコナラ(ブナ科)の伐採

カシノナガキイムシによるナラ枯れ被害で多数の大径木のコナラ等が枯れました。枯死木を放置すると危険なため、高所作業車を使って枯れた大径木のコナラを公園の労務で伐採しています。